

「PF通信(PF通信機能)製品 地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト

APPLIC 登録番号: K000627-0005 ★APPLICで記載

※ 赤字部分は、V3.1からV3.2の変更箇所を示す。

(1) 対象標準とバージョン

- APPLIC-0002-2017
・プラットフォーム通信標準仕様V3.1
・アーキテクチャ標準仕様V3.1

(2) 地域情報プラットフォーム準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

Form with fields for: (a) 申請日, (b) 申請区分, (c) 申請者, (d) 製品情報, (e) 製品のクラウドでの提供について, 参考となる情報, 対応可能なネットワーク.

(3) 地域情報プラットフォーム準拠確認チェック項目(準拠ルール)

製品を申請する対象に「○」(★識別キー項目4)⇒

確認欄への記入: ◎: 対応, ○: 制約のあるもの(制約がある場合は備考欄に記載する)

Table with columns: 番号, 準拠ルール, 必須/選択, サイト内/外/共通, PF対応のSOAPミドルウェア製品申請, APPLIC確認欄, サイト内のPF通信製品申請, APPLIC確認欄, サイト内・外対応のPF通信製品申請, APPLIC確認欄.

※「条件付必須」とは、すぐ上の準拠ルール(選択)を対応とする場合、当該ルールへの対応が必須となることを示す

備考欄(前提事項や制限事項)

- 1-4 WS-I BP 1.0 の項目 4.3.7はSOAPメッセージに対するリダイレクト機能に製品自体が対応していないため、仕様制限としている。
1-5-3 アダプタ(クライアント)のみ対応している。
1-5-4 End-to-Endでの秘匿性確保については、XML Encryptionに製品自体が対応していないため、仕様制限とする。